

AJU麦の会&麦の里ニュース

第 124 号 令和4 (2022) 年 4 月 5 日発行

定価 100 円



発行所・東海身体障害者団体定期刊行物協会

中区丸の内三―六一四三

みこころセンター4F

定価一〇〇円

令和四年四月五日 (毎週火曜日発行)

AJU通巻

増刊第一四四八七号

昭和五十四年八月一日第三種郵便物承認

2022年度の始まりに ~ご挨拶 その①~

【コロナ禍を、みんなで乗り越えましょう】 麦の里 渡邊照予

振り返ってみると、一昨年の2020年度は、初めてのパンデミックに騒然となり、何もかもがコロナ感染対策で明け暮れました。

しかし、2021年度は、マスクにもずいぶん慣れ、感染対策が功を奏して、インフルエンザはもちろん、風邪などにもほとんど掛かること無く、仲間も職員も、意外に元気よく過ごすことができました。「濃厚接触者」になった方もほとんど無く、騒ぐこと無くコロナ禍をやり過ごしてきました。

けれども、お正月以降、「オミクロン株」となってから(?)、「濃厚接触者になった。」というケースが身近に増え、1月下旬以降は【もう、何時、誰が掛かっても仕方が無い】というくらい、職員や仲間の関係者でも「陽性」の話が飛び交いました。実際に自宅で子どもから感染した職員が3人出ました。

そして、3月21日に「まん延防止措置」が解除された直後、仲間が1人、初めて陽性となりました。その直後は本当にハラハラしましたが、結局職員1人が陽性になっただけで、後は増えることはありませんでした。全体では、仲間1人職員4人が感染したことになります。

【1人も掛からずに乗り切りましょう】と言ってきましたが、仲間43人&職員50人と、大所帯になったこの麦の里の、人口密度の高さを考えると、少ない感染者数で感染を押し返すことができると、言っても良いようです。そして、メンバーのほとんどが3回目のワクチン接種も終わっています。

さらに、『濃厚接触者でなければ、原則かかってないものとして仲間たちを受け入れ、必要以上にコロナを恐れない』という麦の里の原則も貫いていけそうです。

さあ、そうして迎える新年度、このパンデミック騒動は、どのように収束するのでしょうか？

【コロナ感染対策】は当たり前としながら、以前と同じように仲間たちとの関わり、そして地域や人との関わりを深めながら、前向きに、毎日の活動を組み立てていきたいと、あらためて願っています。



2022年度の始まりに ~ご挨拶 その②~

【追悼にかえて】

麦の里 渡邊照予

3月11日(金)の朝、重度重複の仲間E. Kさんのお母様が、急逝されました。享年63歳。2月24日(木)に不調で通院されてから3週間足らず。それまでお元気だったので、本当に、信じられないような、急なお別れでした。

お母様は、いつも明るくて朗らかな方で、E. Kさんの事を、とても可愛がってみえました。そして、E. Kさんも、お迎えに来られるお母様の姿を見つけると、とっても喜んで、いつも身体全体で笑っていました。そんな親子の光景も、もう見る事ができなくなっていました。

「娘をずっと麦の里に通わせたい」というのがお母様の遺言だったそうです。

そして、残された娘さんのケアをどうするのか、厳しい現実が迫ってきています。

七色の麦(ホーム)は、現在、定員15名に対してレギュラー14名と体験入所枠の1名で運営しています。体験入所でお泊まりを練習している仲間は6名いるのですが、全員のお母さま達が、快くEさんのためにその体験入所枠を譲って下さいました。また、兼務で夜勤に従事してくれている女性職員のほとんどが、土日の勤務を承諾してくれました。それを支える日勤の職員も、職員配置が厳しくなることを覚悟してくれました。

お母さま達のお話、職員の話し合い、ともに、とてもありがたく、心強いお話だと思っています。

このお母さま達と職員であれば、かなり困難な状況でも、運営していけるだろうと思えました。なによりも、今よりも厳しい現実がきても、できる限りの方策を一緒に話し合っていけると思えました。

亡くなられたお母様のご冥福を、心からお祈り申し上げます。

と同時に、今はとにかく、残されたEさんが安定して生活できるように、そしてご遺族の方々にも納得して頂ける様に、できる限り力を尽くしていきたいと思っています。



～1月 15日(土)例会活動～

☆カラオケ (Aグループ)

今回の定例会は「Aグループのカラオケ」をしました。昨年度の3月以来となりました。作業室をカラオケルームとして設置して取り組みました。1人3曲で事前に希望を出してもらいパソコンとTVを繋げてYouTubeでカラオケを流し、マイクで歌いました。時間としては、余裕ができて、みんなに何歌いたい？と聞くと、ポンポン出てきます。結局、1人5曲ほど歌いました。さすがに、仲間たちは、少し疲れた印象でしたが…。

後半は、初詣から帰ってきたBグループの仲間たちも参加し、ワイワイしたカラオケとなりました。

張り切って歌う仲間たちと一緒に僕自身も歌っていました。歌っている時の仲間たちの真剣な表情、そして仲間たちみんながカラオケ上手い！！また、仲間たちとカラオケしたいな～と思いました。(村松)



☆初詣 (Bグループ)

麦の里から歩いて3分程の「えびす」駐車場には行ったことがあっても、「えびす」神社までは行ったことのない方が多々いましたのでそちらへお参りに行くことに。

寒さと、急な坂道が心配でしたが無事に到着。そこではもう麦の里の私たち以外の人は居らず、自然一杯の中で散策や残った雪を踏んで、足音を楽しんでいました。

職員の日比野さんは、仲間の皆さんに今年の目標をリサーチしてくださり、岩切さんはお参り用に、小銭を皆さんに渡してくれて有意義に過ごせました。おかげで、順番でペアになり、賽銭箱に小銭を投げ入れ、今年の目標を声に出して手を合わせてきました。

なりたい自分を思い描き、誰かの幸せや健康、平和を願ったりと、目標を持つ。それは生きる活力になります。そのために自分には何が出来るか、具体的に目的を掲げられる事、始まり、感謝です。

(古謝)

☆アロマ足浴(療護グループ)

新年に入って最初の例会、泡が出るタイプの入浴剤で足浴をしました。

入浴剤をシャワーで泡立たせ、たっぷりのお湯を張りました。

いつもと違う足浴で暖まり、仲間達はどうかだったかなあ～？

女子トークをしながら日差しが入る療後で体も心も癒されました。 (川口)



～森へと続く道～

趣味はなんですか？と聴かれたら。一度でいいから「暮らしが趣味です。」と言ってみよう。暮らしを趣味としている方々の何とも拘りぬいた暮らし振りをネット上で観ては、しばしば、ほうっと感嘆のため息をついているからだ。

忙しいとは言い訳なのだ。忙しいからこそ無駄を省いてシンプルに。でもオシャレに、丁寧にそして優雅に。そのシンプルな日常生活を彼らは自分軸で楽しんでいる。そこには、何とも言えない生き活きとした生の躍動感がある。

もしかしたら毎日が生きていくのに精一杯。「生活」が趣味の自分から抜け出して、暮らしに潤いをもたらしたい。生きてるってことそのものに向き合いたい。そう感じているのかしら、と思う。

まずは、日々の暮らしをじっくり感じてみることから始めてみよう。

夏が始まるころ、群青色の朝顔の花が咲くまだシンとした早朝に、コーヒーの香りの漂うなかで。そうだ、こだわったまな板の上でサンドイッチでも作ってみようかな。

(日比野)

～2月5日(土)例会活動～

☆ケーキづくり(Aグループ)

2022年2月5日(土)、職員2名(後に、職員1名が友情く？>参加)、仲間4名でケーキ作りにチャレンジしました。

この日、担当職員の自分は嫌な予感がしていました。なぜかという、お菓子作りで成功した事が無かったからです・・・昔、家でケーキ作りやシュークリーム作りにチャレンジしたことがあるのですが、いずれも、全く膨らまずに失敗・・・ただの硬すぎるクッキーと変貌しました。悪夢しかよぎりませんでした、とりあえず、チャレンジしてみました。

企画発案者の仲間・K.Sさんと、どんなケーキを作りたいか相談し、ロールケーキに決定。丁度、節分の直後だったので、ココアパウダーを海苔に見立てた「恵方巻ロール」になりました。

仲間は、全員やる気十分で、レシピを見ながら、材料の混ぜやクリームを泡立ても全く弱音を吐かずに、ひたすら手を使い混ぜてくれました。その後、海苔となる部分もムラはあっても、何とか焼き終わると海苔も形になり、いよいよ、中のご飯の変わりになるロールケーキ生地を鉄板に投入！しかし、予想以上に薄く、時間も無くなりそのままオープンへ・・・結局、予感的中し、ロールケーキというより、「クレープ」になってしまいました・・・みんな、待ち焦がれていたのも、そのままホイップ・果物を乗せて完成しました・・・結局、完成したものは「恵方巻ロール」というより

は「恵方巻クレープ」でした・・・(涙)。しかし、みんな「おいしい」と喜んで食べてもらえたので、まあ、良かったのかなと思いました。

ちなみに、途中、Bグループで開催されているカラオケ大会に企画のK.Sさん含め(苦笑)、ほぼ全員、出て行ってしまったので、ケーキ作りにずっと情熱を注いでいるただ一人残ったK.Kさんと、少しだけ材料が余ったので、作ってみました・・・普通に恵方巻ロールができました(汗)。サイズと材料の比率が間違っていた様です・・・という事で、この反省点を活かし、次回は、ぜひ他の職員さんをお願いしたいと思います！？

(もう、お菓子作りはこりごり<涙>、しかし、
いつかリベンジしたい！！・こばゆ)





☆カラオケ (Bグループ)

前日が何と!!コロナワクチン接種日・・・結局仲間は3人という中々の人数でしたが、アンプにスピーカー、ミラーボールも準備して本格的なカラオケスタジオを作って作業室で歌いました!

3人・・・しかも、うち2人は「聞いているだけでもえっかなあ・・・」といった感じで楽しめるタイプのお方々!?「さあ、どうしたもんか・・・」考える余地なく決まってるでしょ!d(*' ω' *)b

職員さんも歌いましょー!という事で、中々に仲間たちと一緒に久々のカラオケを楽しみました。施設長、副施設長にも声を掛け、お菓子作りをしていた仲間達にも声を掛け、結局てんやわんやにしたかったので、成功したと思います。

歌に誘ってきていただいた方には、本当に感謝の極みです。いつも本当にありがとうございます。いやはや、人の前で歌うというのは、恥ずかしいですが気持ちがいいものですね。例え、声のトーンが外れたとしても、盛り上がればいいんです。音痴でもイイんです。楽しめればいいんです!!でも、やっぱりもっと仲間がたくさん来てもらいたかったなあ…欲を言えば早くコロナが収まって、麦の里じゃなくて、外のカラオケBOXでいろいろ食べながら、飲みながら、わいわいと楽しみたいですよ!!おいらあは、アイスシェイクをで喉を潤しながら、熱唱したいです。。メロンクリ〜ムソーダが飲みたい…
(イワンコフ)

☆ケーキづくり(療護)

2月といえば、バレンタイン!バレンタインといえば、お菓子作り!ということで、療護の仲間の好きな生クリームを使ったチーズケーキをつくることにしました。何を作るか相談をしているときから、仲間たちはすでに食べるモードになっていて、口がもぐもぐ…楽しみな様子でした。

当日はワクチン接種の翌日ということもあり、仲間がどんどん欠席になり、なんと2人・・・せつから、その分たくさん食べよう!とみんなで力を合わせて、スタート!いつもはお気に入りの場所に行って過ごすことの多いCさんも、これから良いことがあるとわかるようで、机のところでちょこんと座って、準備万端!職員が美味しくなあれと言っていると、「あぶっ!あーいやい、やい!!」と掛け声をかけて、一緒にパワーを送っているようでした♪生クリームの大好きなMさんは、作っているときから、「まんま!」と早く食べたい様子。そのあまりの思いの強さに負け、「味見したい人?」と聞いたところ、食い気味に「ほっ!」と返事が(笑)2人とも味見をして、パワーを充電してから、ケーキ作りの後半戦スタート。味見したお陰か、よりやる気になったようで、チーズクリームを混ぜたり、みかんをつぶしたりしながら、2人の作ったものを合わせて、ふわっ、ふわのケーキの完成!!いざ実食!しっかりもぐもぐと味わいながらも、すぐに次のを“ちょうだい!”と言わんばかりに口が開いて・・・たっぷりあったケーキもあっという間に完食でした🍴2人の嬉しそうな顔を見て、次は何を作ろうかなーと、今から楽しんで考えています(笑)



(やな)

仲間紹介

中川

健司さん



中川健司さんは、麦の里では3番目に背が高く、そして大ベテラン。純粋で優しく、仲間想いの健司さん。小さなことに喜んだり、落ち込んだり。でもそれは健司さんが日々、ものごとをととてもよく見ている「観察眼」の持ち主だからです。麦の里の職員は、健司さんのそんなところを、とても愛おしく思っています。新しく来た人には何でも教えてくれます。例えば仕事の細かいやり方や道具のことなど。そんな時、健司さんはとっても頼りになります。ハサミの渡し方も気を付けて人にそっと渡す、優しいところがあります。

そしてそして。冗談が大好き。みんなが笑うと満心の笑顔。そんな時の健司さんの少年のような笑顔はとても印象的です。もともとは不安感の強い障害なので、仕事の急な変更や、新しい作業の時には落ち着かない時もありますが、そんな特性からか、製品の不良を見つけるのは大得意で、「あった！」とうれしそうにしています。沢山笑って、一生懸命作業をして、これからも麦の里で活躍してください。

職員紹介

松本郁代さん



松本郁代さんは、令和3年の4月から、作業療法士として麦の里に毎月2日、来られています。成人を祝う会で麦の里に来て、楽しく優しい雰囲気魅かれたのが働くきっかけだそうです。

松本さんは土岐市出身。現在は旦那様と2人暮らし。ご趣味は書道、城址めぐり、カフェめぐり。やりたいことは体を動かすこと（例えばダンスや登山）。座右の銘は「日々是好日」。なりたい人物像は、新人で働き始めたときの上司の原さん。好きな場所は、いつも歩いている散歩道（そこから見える恵那山の風景）ということです。

『生活介護の世界は初めてで、仲間とスタッフのみなさんから教えてもらうこと、学ばせてもらうことがいっぱいあり新鮮で楽しいです。少しずつ、これまでやってきたりハビリのことが麦の里の生活の中で活かしたら良いです。』と、語って下さいました。

～ 七色の麦 まめまき ～

節分の豆まき

七麦メンバーより節分前々日より「今度豆まきしたいな！！」と希望があり節分に向けてみんなで準備をしました。準備では新聞紙で大きめの豆作り。鬼役のSさんは「お面を作る！！」と張り切って作ってくれていましたが、鬼が怖いようで好きな職員さんをイメージした似顔絵を描いていました。

豆まき当日、Sさんは自作したお面を着け「さあ始めるよ」と張り切って登場。でもなぜか「鬼って呼ばないでね」と鬼役さん、どうも鬼というフレーズも怖いようで似顔絵の職員名を呼びながら仲間全員で手作り豆と大豆を握りしめ〇〇鬼に向かって「〇〇鬼は――外！！」「福は――内！！」と元気いっぱい投げてくれていました。特にAさんは座っていたのが立ち上がって前に振りかぶって「やあ――あ！！！」とドンドン身体が前へ前へ進んで行き最後の1球で鬼を退治してくれました。行事が苦手な仲間も準備や豆を投げたりと行事に参加出来、急遽始まった企画の豆まきも無事笑顔で終わることが出来ました。

(北村)

鬼退治、これにて 無事完了。



～ 青色の麦 お楽しみ食事会 ～

青色の麦では、様々な行事もやりつつ、一月に1回のお楽しみ食事会を楽しんでいます。もともとは、食事の変化がつかないことに仲間たちから不満が出て、話し合いの結果、仲間たちから食べたい物を聞いて、それを食事に出す事にしました。「からあげ」「ケーキ」「チャーハン」など、定番のものが多いのですが、それでも「食べたい物がでる」ということに、仲間たちも満足しているようです。その日だけはホームで夕食をたべるといふ、某若手職員もいるくらいです(笑)。

小さい事ですが、こういう事も仲間たちがホームの主人公になっていくというステップのひとつだと思って、新年度も取り組んでいこうと思っています。

(稲垣)

お楽しみコーナー クロスワードパズル

1		7		8
2	9		5	C
	3	A		
4			6	B

☆キーワード☆A~Cをつなげてね！

A **B** **C**

ヨコのヒント

1. 「屋根より高い◆◆◆◆～♪」。◆◆◆◆に入る歌詞は？
2. 「象形△△」「大△△」「小△△」「指△△」「人△△」。△△に入る言葉は？
3. 「静かな★★★の森の影から～♪」。★★★に入る歌詞は？
4. 「早起きは三文の○○」。○○に入る言葉は？
5. 茨城県にある市で、納豆と黄門様の有名な所は？
6. 沖縄県の県庁所在地で、空港がある都市は？

タテのヒント

1. 5月5日は「●●●の日」。●●●に入る言葉は？
5. 全ての人や全てのもののことを何という？
7. 「味付け■■」「板■■」「刻み■■」。■■に入る巻き寿司や、おにぎりに使う食べ物？
8. 英語で手首のことを何という？
9. 電車の到着や出発の時間が載っている表は？
「□□□表」

職員をつぶやき

久しぶりにつぶやきの順番が回ってきて、何を書こうかと悩んで…決まったのは「機関紙」のことでした。先日、長らく担当していた機関紙係を外れ、初めて新しくなった機関紙を読みました。作る人によっていろんな味が出て、面白いなあと率直に感じました。作っているときは、締め切りに追われて大変なこともありましたが、機関紙をつくることを通していろんな仲間の一面を知ることができていたんだと改めて感じました。仲間紹介を書くために、仲間のこれまでを知ることができたり、活動の写真を集めながら、一緒に活動していなかった仲間のいろんな表情を見ることができたり、(機関紙に載せることができないものまでありますが…) 今思えば機関紙係の特権だったと思います(笑)なんてしみじみと語ってみましたが、いきなりですがここで、宣伝です！私の担当している仲間と作るクロスワードは、これからも続きます。仲間とあーでもない、こうでもないとしながら、楽しく？必死に？作っています。1からヒントも考えて、PC入力まで、仲間と頑張っています。クロスワードを細かくチェックして下さっているあなたなら、キーワードがちゃんと季節のものになっていることに気づくはず…(笑) そちらもお楽しみに！！まとまりのない文章になってしまいましたが、たぶん言いたいことは、「私は機関紙が好き」ということなんだと思います。なので、機関紙をこれからも楽しみにしつつ、新しい機関紙係さんを陰ながら応援しています！

(やな)

お礼のコーナー (敬称略 順不同)

◇◆麦の会の会員・賛助会員になっていただきました◇◆

賛助会員新規：木藤憲行

賛助会員更新：

横井智子 小口美佐子 小川弘樹 保條成宏 井川成子 蒲菜穂子 日下部悠希

◇◆社会福祉法人麦 及び 施設麦の里へ寄付金&物品をいただきました◇◆

奥田雅子 宮下洋子 水野すみ子 大野芳治 山本

◇◆「第2麦の里 建設募金」にご寄付頂いた方 ◇◆

河合信一 光川幸一 越智メイ子 阪口康祥 阪口学 吉田ゆかり 岩田文子 菊池秀雄
松本徳子 山本シゲ子 由川慶子 村松勇哉 浜口大 センゴク電化 加藤鈴子
藤井信明 中川広吉 宮下洋子 横井智子 宮田栄一 小口美佐子 保條成宏
井川成子 西尾さやか 蒲菜穂子 山中しのぶ 障害者とともに歩む麦の会 匿名多数

—お詫びとお断り—

かわらぬご支援をありがとうございます。3月10日までにいただいたものを集計しております。チェックは重ねておりますが、お名前がもれている場合にはお知らせ下さい。

また、第2麦の里募金へのご寄付をお願いしたところたくさんのご厚意をいただいております。次号でいったん集計して報告します。ありがとうございました。

もう10年も前にとってもお世話になった方から応援メッセージと共に寄付金が届きました。

いつも麦の里のニュースをお送り頂きありがとうございます。皆様が日々楽しく、大変な中も頑張ってみえる姿に励まされています。

第2麦の里、すごいです。そのパワーの元である支える方々の愛の集結だと頭が下がります。

細やかな応援しかないですが。。皆様の笑顔に結びつく様に同封させていただきます。こんな送り方ですみませんが納めさせて頂けますか。

どうぞよろしく申し上げます。

2月吉日

加藤鈴子

すてきなメッセージ ありがとうございます。

今後の予定

4月

- 2日(土) 麦の会 定例会&麦の里半日活动日
- 8日(金) 瀬戸市役所福祉マルシェ
- 11日(月) 床屋デー / 訪問歯科
- 23日(土) 麦の会役員会
- 26日(火) 北山地区廃品回収予定

5月

- 7日(土) 麦の会 定例会&麦の里半日活动日
- 28日(土) 麦の会役員会
- 31日(火) 北山地区廃品回収予定

6月

- 4日(土) 麦の会定例総会&麦の里1日活动日

第30回 麦の会 定例総会

◎日 時◎ 2022(R4)年6月4日(土)

09時40分受付開始

10時00分 開会予定

◎場 所◎ 七色の麦 1階会議室にて

◎尚、会員で参加できない方は、委任状の提出をお願いします。

◎昨年、一昨年は「書面」による開催だけでした。今年こそは開催したいです。

お楽しみコーナーの答え

124号 クロスワードパズル

キーワード：「はなみ」

運転手さん大募集！！

仲間たちの朝、夕方の自宅、
ホームまでの送迎をしてくださる
方を募集しております！ご興味
がある方は麦の里まで！

あっ、
春みっけ！！



障害者とともに歩む 麦の会
生活介護事業 麦の里
共同生活援助事業 七色の麦

〒480-1214 愛知県瀬戸市上品野町1354-12
電話(0561)41-4124/FAX(0561)41-3766
ホームページ : <https://www.mugisato.or.jp/>
Mail : nakamanowa@mugisato.or.jp

編・集・後・記

最近とても暖かくなり、仲間と一緒に
お出かけしやすい時期になりました。
コロナがいまだ落ち着かず、大変な中
でも楽しめる活動を心がけています。

(たら)